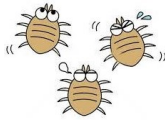




疥癬のおはなし【前編】



唐突ですが、平成30年の夏、中津医療福祉センターでは疥癬が旬です。そこで今回から数回に渡り、疥癬について、お話ししたいと思います。

疥癬はヒゼンダニという小さなダニが皮膚に寄生して起こる感染症です。あの吉田松蔭も発症したという記録があります。もともと性感染症として始まりましたが、現在は高齢者とその介護者に発症が多い疾患です。このヒゼンダニは体長約0.4mmで目の良いひとでも、心眼でしか見えません。また蚊やノミの様に人を刺したり、血を吸ったりすることはなく、一生を人の皮膚に寄生して過ごし、人の皮膚から離れると短い時間で死んでしまいます。さらに他のダニと異なり動きは鈍く、誰が測ったか、皮膚の上でも1分間に2.5cm程度しか移動できないとのこと。

病型には、普通の疥癬と、重症型であるノルウエー疥癬(角化型疥癬)の2種類があります。

ヒゼンダニが健常人に感染すると、ふつうの疥癬として発症します。激しいかゆみと、①赤い丘疹 ②陰部の結節 ③疥癬トンネル、の3種類の皮膚症状が特徴といわれていますが、興味のある方は皮膚科の教科書をご参照ください。無治療で放置しても6ヶ月くらいで自然治癒するといわれていますが、その間、夜も眠れないほどのかゆみを伴う皮疹が続き、他人にもうつすので治療が必要です。重症型のノルウエー疥癬はなおさら容易に他人に感染させますので、治療はもちろん、隔離が必要となります。

(腎臓内科 田中敬雄)

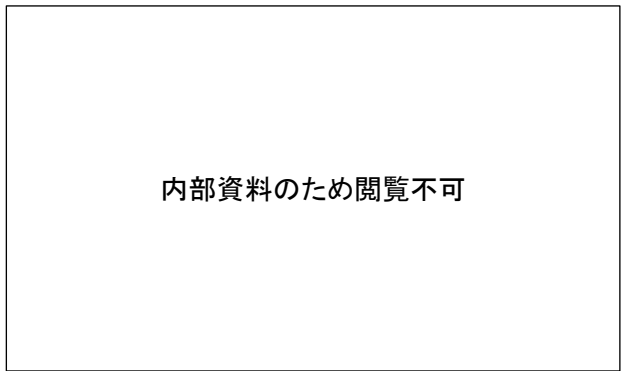
【通常疥癬と角化型疥癬】

	通常疥癬 (普通に見られる疥癬)	角化型疥癬 (癬皮型疥癬)
ヒゼンダニの数	数十以上	100万~200万
患者の免疫力 (病氣一般に対する抵抗力)	正常	低下している
感染力(他人へうつす力)	弱い	強い
主な症状	赤いブツブツ(丘疹、結節)、疥癬トンネル	厚いあか(垢)が増えたような状態(角質増殖)
かゆみ	強い	不定
症状が出る部位	顔や頭を除いた全身	全身

国立感染症研究所HPより

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/380-itc-intro.html>

【看護のポイントおよび対応】



内部資料のため閲覧不可

当院感染対策マニュアルより抜粋

来月号へ続く



子ども職場参観で手洗い教室

【講義】

バイキンってなに？
手洗ってなんのためにするの？



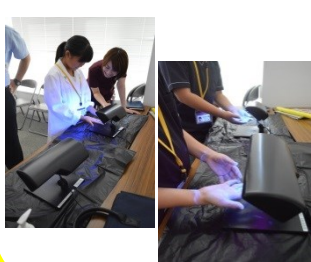
【手洗い】

いつでもおりに手を洗ってみよう！



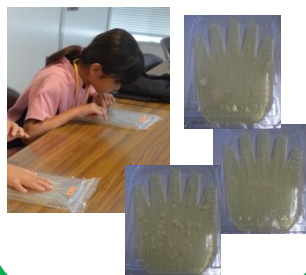
【ブラックライト】

きれいに洗えたかな？



【手の培養】

うわっ！汚い！！



夏休みの恒例行事となった中津病院Smile Hospital Project (SHP)主催による『子ども職場参観日』に今年も感染管理室として協力させていただきました。計7名のお子さんが参加され、感染管理室からは“手洗い教室～手にバイキンがいっぱいいる?!～”というテーマで、感染対策の基本である手洗いに関する簡単な講義とブラックライトを用いた手洗いの演習を行いました。手洗い演習では、大人顔負けの上手な手洗いを披露してくれました。また、保護者の方に協力していただき、参観日の2~3日前に家で手の培養を採取してもらい、最後に菌がたくさん生えているのを見てもらいました。30分という短い時間でしたが、SHPの皆さんやICTメンバーの協力もあり、和気あいあいとした楽しい時間を子ども達と一緒に過ごすことができました。このような企画を通して、子ども達が少しでも感染対策に興味をもってもらえると嬉しいです。

(感染管理室 川口尚子)

感染管理室からのお知らせ

9/13~9/15の3日間に4種流行性ウイルス疾患のワクチン接種を実施します。対象者の皆様は、案内文をご参照のうえ、スムーズな接種と抗体価の獲得に向け、ご協力のほどよろしくお願い致します。